

東京経済大学大学院 経済学研究科 入学試験 (2026年度 2期入試)

課 程	修士課程
入試区分	留学生入試
試験科目	理論経済学
出題意図	志願者本人が希望する専修科目に関して、学士レベルでの専門的な知識及び理解力、論理的な思考力を問う問題である。
解答例	<p>特定の解答に誘導し、筆記内容が画一的になると、筆記試験が意図する思考・表現力、創造性等の把握が困難になるため、解答例は公開せず、解答のポイント（採点基準）を公表しております。</p> <p><解答のポイント（採点基準）></p> <p>主に以下の点を評価対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 出題意図を念頭に置き、設問の内容を把握できていること。(2) 設問に対する解答に必要な、専門分野に関する学士レベルの専門的な知識を修得できていること。(3) 設問内容と上記知識との関係を明確に認識できていること。(4) 設問に対する解答を、上記の認識に基づいて論理的に行えていること。(5) 上記の諸点を無理なく読み取れる解答であること。

※ 公開している入試問題等について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度入学試験（2 期）経済学研究科・修士課程
留学生入試 筆記試験問題
【専門科目：理論経済学】

2026 年 2 月 16 日（月）実施
東京経済大学大学院経済学研究科

* 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

以下の問(1)～(4)すべてについて、必要に応じて図も示しながら解答せよ。

- (1) 「限界代替率」とは何かを、無差別曲線の概念と対応させながら説明せよ。
- (2) 第 1 財を環境への配慮がある財、第 2 財を環境への配慮がない財とする。2 つの財は、不完全代替の関係にある。消費者の環境意識が高まると、第 1 財の第 2 財に対する限界代替率にはどのような変化が生じるか。第 1 財と第 2 財の消費についての無差別曲線における変化と合わせて説明せよ。
- (3) 第 1 財および第 2 財の価格と、人々の所得水準に変化がないものとして、消費者の環境意識が高まった場合、第 1 財と第 2 財の消費量にどのような変化が生じるか。消費者の最適化行動がどのようなものになるかを踏まえて説明せよ。
- (4) 第 1 財の消費量を x_1 、第 2 財の消費量を x_2 として、消費者の効用が

$$u(x_1, x_2) = ax_1^b x_2^c, \text{ ただし } a > 0, b > 0, c > 0$$

という効用関数で表されるとき、消費者の環境意識が高まるということは、どのように表現できるか。上記の効用関数の式に基づいて説明せよ。